

## 日本版ハブ(下水道技術の国際戦略拠点)の招致と、 横浜水ビジネス協議会の設立について

### 1 はじめに

世界の水ビジネス市場は新興国を中心に急速に拡大しています。また、横浜市下水道は、高い技術力と豊富な運営実績を有しており、これからの国際貢献を含めた海外展開に大きな役割を果たせるものと考えています。

また、中期4か年計画における成長戦略である「環境最先端都市戦略」、「海外ビジネス展開戦略」においても、横浜のインフラ技術の活用による市内経済活性化への貢献などが位置づけられています。

そこで、国が計画を進めている「日本版ハブ」(下水道技術の国際戦略拠点)の招致及び横浜水ビジネス協議会の設立に向けた取組状況について報告します。

### 2 日本版ハブ(下水道技術の国際戦略拠点)の招致について

#### (1) 日本版ハブ計画

- ・国では、自治体の既存の下水処理施設を改良し、日本版ハブとして下水道技術の国際戦略拠点の創設を計画しています。

<主な機能>

- ・技術開発拠点、ショーケース、ネットワーキング、商談機会の創出

#### (2) 市の対応

- ・本市としては、豊富な下水道技術と運営実績の活用、国際化が進む羽田空港との至近に位置するなどの利便性、MICE機能の充実などハブの機能強化へ貢献できること、また、ハブが市内企業の活性化につながるなど効果が大きいと考えられるため、北部下水道センターへの招致に向けた行動を進めています。
- ・1月24日には、林市長が国へ招致要望、日本版ハブ計画に当たっての提案(上下水道一体、国等の一括運営)を行いました。

#### (3) 今後の動向

- ・国では、国内で2～3箇所の設置を計画しており、平成23年度の4月以降に公募が始まる予定です。

### 3 横浜水ビジネス協議会の設立について

#### (1) 目的

上下水道分野が連携し、日本版ハブの招致につなげるとともに、海外水ビジネスの展開に向けた情報共有など、官民連携の場として横浜水ビジネス協議会を設立します。

#### (2) 現在の状況

協議会への参加は、海外水ビジネスの推進に関心があり、市内に本社や営業所など、活動の拠点を有する、若しくは予定がある日本企業及び団体等を対象とし募集しています。

- ・ 1月19日～2月17日 協議会の会員募集期間
- ・ 2月9日 協議会の会員募集説明会の開催 参加社数 104社 参加人数 160名
- ・ 3月末 第1回協議会の開催を予定

## ■ 北部下水道センターの全景

